



中ノ郷信用組合「SDGs 宣言」

SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで 150 を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標」です。基本理念である「誰一人取り残さない」を目的に世界共通の 17 分野の目標（ゴール）とそれを達成させるため 169 項目の具体的目標（ターゲット）から構成され、2030 年を期限に貧困の根絶や格差是正、環境保護、働きがい等の世界的優先課題に取組み、持続可能な社会の実現を目指すものです。

中ノ郷信用組合は、「隣人愛による相互扶助を基調に、役職員の全力を結集して、地域最良の金融機能を発揮し、地元の豊かな街づくり、組合員の幸せづくりに奉仕する」の創業精神のもと、金融業務に止まらず地域経済の活性化のため、環境、文化・教育、福祉、防犯など、さまざまなかたちで地域社会の発展に取り組んでいます。

当組合の取組みは、国連が提唱する SDGs（持続可能な開発目標）の理念と合致するものであり、今後さらに取組みを強化して地域社会の持続的成長に寄与することを宣言します。

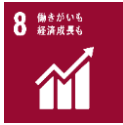
令和 2 年 10 月 1 日
中ノ郷信用組合
理事長 吉川 洋之

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



中ノ郷信用組合「SDGs」への具体的取組み

1.地域経済の活性化



- 事業性評価に基づく融資・支援推進
- 創業支援のための融資取組み及び地域クラウド交流会の共催
- 事業支援・経営改善に向けた経営相談の実施～東京都中小企業再生支援協議会、中小企業診断士との連携
- 財務・税務コンサルティングサポート～TKC 東・東京会との連携
- 事業承継のための支援取組み～東京都信用組合協会、東京商工会議所、日本政策金融公庫との連携
- 「しんくみ食のビジネスマッチング展」による販路開拓支援
- 「新現役交流会」による人材マッチングの取組み
- 不動産業者・建設業者とのビジネスマッチングによる連携
- 新型コロナウイルス感染症拡大に対する積極的な金融支援

2.地域社会への貢献



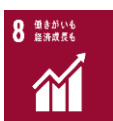
- 子育て世代の方向けの応援積金「みらい」の取扱い推進ならびに子育て支援ローン・教育ローンの取扱い推進
- 認知症サポーターの育成
- 年金相談会の開催
- 年金受給者の方向けの「すみれ定期預金」の取扱い推進
- 視覚障がい者の方にも対応したATMの設置
- 地域行事への参加、店舗周辺の清掃活動、「こども110番」の実施
- 店舗のホール・会議室の無料貸出
- 振込め詐欺・カード詐欺被害の未然防止への取組み
- マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の高度化
- 献血運動への参加
- 「しんくみピーターパンカード」に基づく寄付金贈呈

3.環境保全に対する取組み



- 環境認証制度（エコアクション21）の全店舗取得
- 環境配慮型金融商品「エコ定期預金」、「エコローン」の取扱い推進
- 環境配慮型店舗の導入、LED照明への切替促進
- 環境配慮型通帳の導入実施
- クールビズの実施

4.人材育成への取組み



- プロセス評価の導入を含めた人事考課制度の見直し
- 各種資格取得・検定試験に向けた奨励・支援ならびに内外研修への参加・実施